

DISTRICT 2500 OBIIHIRO ROTARY CLUB

方針 友情と信頼

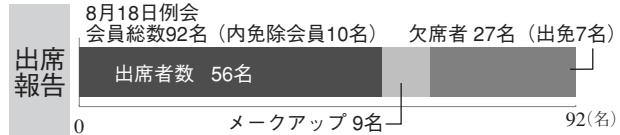
会長 後藤 裕弘

No. 2901

第3219回例会

平成22年9月1日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
(地域を育み、大陸をつなぐ)



■プログラム 「新会員卓話」



小川 直樹 会員

北海道新聞社帯広支社の小川直樹と申します。歴史と伝統のある帯広ロータリークラブに入会を認めていただき、また本日は卓話をさせていただく機会を頂戴し光栄に思っております。皆様にあらためて感謝申し上げます。

私は現在の函館市、市町村合併前の地名では南茅部町という漁師町で、昭和28年4月5日に生まれました。中学までそこで過ごし、函館ラサール高校、京都の同志社大学を卒業した後、大阪でしばらくふらふらしていましたが望郷の念に駆られて北海道へ帰り、昭和52年に北海道新聞社に入社しました。性格はおっちょこちよい頑固者、趣味は読書、音楽鑑賞、温泉、カラオケ、異業種交流、お酒少々などです。最近は必要に迫られて男の手料理も趣味のひとつとなりました。好き嫌いはありません。特に好きな食べ物はカレーライスです。帯広に来てインデアンカレーの美味さには感動しました。隠し味は醤油ではないかと想像しております。

私が生まれた日・南茅部町は人口7,000人ほどの町で、渡島半島の噴火湾沿いに位置する南北に細長い地域です。作家の谷村志穂さんの「海猫」という小説は、ロシア人と混血の美少女とその娘たちの悲恋の物語で島清（しませ）恋愛文学賞を受賞し、映画化もされました。元々は道新TODAYという月刊誌に連載されていたのですが、南茅部はその小説の舞台になった小さな漁師町です。

大謀網の発祥の地もあります。大きな謀（はかりごと）と書くこの網は、魚を文字通り一網打尽にする大掛かりな定置網で、ニシン漁などに適しており、小川屋幸吉という私の先祖が天保10年（1839年）に始め、全国に広まりました。その石碑も立っておりました。

さらに明治元年10月、榎本武揚や新撰組の土方歳三らが森町の鷺の木という地区に上陸し、南茅部の峠を越えて函館の五稜郭に入り、官軍との戦争に突入しました。

旧・南茅部町の特産品は昔から献上昆布として名高い白口浜の真昆布です。がごめ昆布という、私が子供の頃は鳥も食わない見向きもされなかつたでこぼこした突起のある昆布も、実は美味しい身体に良いというので最近大人気です。

最近は北海道唯一の国宝に指定された縄文時代の中空土偶が出土したこと、昔よりはマチの名前が知られるようになったと思います。ちなみに私が「十勝」という言葉に出逢ったのは「十勝石」を通じてだったような気がします。南茅部では縄文時代の矢じりや土器がたくさん出土します。子供の頃、私もよく山で発掘しました。黒いガラス質の黒曜石、つまりこの十勝地方でしか産出しない十勝石のものが極上の品でした。今は文化財ですから私物化は出来ないはずですが、これは私が見つけた十勝石の矢じりのひとつです（矢じりを皆さんに披露）。これはおよそ3,500年前に縄文人が使っていた貴重なお宝です。

次に、帯広・十勝との出逢いについてお話をさせていただきます。札幌から帯広に転勤して2ヵ月が経ちました。お蔭様で毎日、帯広・十勝の素晴らしいを堪能しております。こちらに来る前に「十勝モン

ロー主義」ということを言う人がいましたが、帯広・十勝は閉鎖的どころかウェルカムto帯広、ウェルカムto十勝、のオープンマインドな土地柄で人情も厚く、大変居心地の良いところだと感じております。

また、フードパレードから構想やシニックバイウェイに象徴されるように、帯広・十勝は観光、温泉、農産物、グルメなど、どれをとっても一級品だと思います。本業に即して申し上げれば、新聞などのメディアミックスによる報道を通じて帯広・十勝の魅力ある情報を十勝管内にとどまらず全道、ひいては全国に発信し、実際にこの地の素晴らしさを味わってもらってどんどんお金を落としてもらいたいと願っています。ご縁があって帯広市民となった私のミッションのひとつだと考えております。

最後に、話題を仕事に移します。私が北海道新聞社に入社した昭和52年当時は、発行部数を100万部、ミリオンペーパーにしようとの運動が盛り上がっていた頃で、社内は熱氣があふれています。現在の発行部数は約116万部で、ピーク時の125万部強に比べますとかなり減りましたが、お蔭様で今も日刊の一般紙としては読売、朝日、毎日、中日新聞に次いで日本で5番目、地方紙としては最大の発行部数を持っております。また、新聞のシェアで見ますと北海道全体では約74%となっております。とは言うものの、この話は帯広で申し上げてもなかなか信じていただけません（笑）。

さて、新聞社と言いますと新聞記者のイメージが強いでしょうが、総務、販売、広告、事業、製作、印刷などたくさんの部署があります。私は主に営業・経営管理畠を歩んで参りました。販売局、メディア局、社長室、秘書部などです。ずっと裏方、バックヤード側の人間で、企業としてのメディアの世界で、経営者側の苦労にもそれなりにふれてきました。昨年までは子会社の役員として出向し、マネジメントに苦労しました。ロータリーの皆様は経営のプロで人間力も高い方ばかりです。ロータリー活動を通じて、マネジメントについてもあらためて勉強させていただければ幸いです。どうぞ皆様今後ともよろしくお願い申し上げます。



及川 ゆかり 会員

みなさん、こんにちは。「十勝ダイニング ふる屋」の及川ゆかりでございます。この度、歴史と伝統ある帯広ロータリークラブへの入会を認めていただき、そして卓話の機会をいただき、ありがとうございます。

私は1966年、昭和41年帯広に生まれました。内午（ひのえうま）年生まれということで、何かと世間の話題にのぼることが多い中で育ちました。昭和60年、帯広柏葉高校を卒業し、北海道労働金庫へ就職しました。労働金庫退職後、色々な職に就きましたがそこでの経験のお陰で仕事には恵まれていたと思います。そして、十勝川の第一ホテルで派遣として働いていた時に紹介者である倉野さんと店の共同経営者である古谷と知り合いました。古谷も店をやるならパートナーが必要だと考えていたようで、平成17年11月、ついに西2条南4丁目で「茶花亭ふる屋」を開店することとなりました。そこで5年半、営業し建物の老朽化が激しかったため、今年5月現在の場所へ移転オープンしました。私の紹介はここまでとして、本来、ロータリークラブへの入会は古谷へ薦められたことでしたが、例会等への参加が難しく、私が入会させていただくことになりました。そんな事から古谷と店の紹介を少しさせていただきます。

十勝ダイニングふる屋の代表であります古谷慈教（よしゆき）は昭和49年留萌生まれ、音更育ちの36歳です。地元の高校を卒業後、札幌ジャスマックプラザ花遊膳に入社しました。当時、花遊膳は北海道で一番大きな生け簀があり、料理人だけでも22名いました。

そして一度、帯広に戻り味処おり茂で働きましたが、もっと料理を学びたいと、京都で300年の老舗京料理はり清で修業することになりました。京都では文化の違いはもちろん、知り合いもいなかったので、人間関係等では苦労したようです。北海道出身というだけで親方に半年も口をきいてもらえないということもありました。京都へ行って料理の技術を身につけるのはもちろんですが、今まで暮らしていた十勝の素晴らしさを改めて認識することになりました。蛇口を捻れば「飲める水」が出る、新鮮でおいしい農産物、当り前のように思っていたことが実は当り前ではなく、本当に恵まれていたのだということです。いずれ、自分が店を経営した時はこの十勝の素晴らしさを伝えよう、とこの時感じたそうです。そして今、「十勝ダイニング」という名で店をオープンすることができ、将来的には全国へ向けて十勝を発信するお手伝いができたらと思っています。

今、食材に関しては「十勝産」ということがかなり知られており、ブランド化されております。が、ちょっと前に放映されていたCMのように十勝産小豆という素材は知られているけれど結局は京都の金つばという形で私たちのもとへ出回ってくることが多いと思います。素材そのもののブランド化は素晴らしいのですがその素材を生かし、もう一歩進んだ形、京都の技術と十勝の融合、もう一段階手を加えた形のものを皆様に知っていただきたいと考えております。まずは自分たちで出来ることからコツコツと、そして皆様のご指導を賜りながら少しでも十勝発展のお役に立てればと思っています。今後とも、どうぞよろしくお願いします。

■会長報告



先月は会員増強月間ということで、堀江会員がご入会されました。小西さん、島田さんのお二人が退会されたので残念ながらマイナス1となってしまいました。元会員の神さんについては、体調が良くないので今回は辞退したい旨、御連絡を頂きました。現在、数人の候補者の名前が挙がっておりますので、勧誘に務めようと思っております。

今月は、新世代のための月間ということで、ローターアクトをお招きしての例会が計画されております。当クラブでは長年5大奉仕の1つとして重要な役割を果たす部門であり、昨年のジョン・ケニーR 1代表が「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と提唱されたためか、来年からはR 1も5大奉仕になる大切な活動でもあります。大江委員長の指導力に大いに期待しますと同時に、皆様全員で関心を高め、より良き未来のために力を発揮したいものです。

話は変わりますが、先週で情報集会が一通り終わったことと思います。今年は、私の方針で補助金を2000円に切り下げることで皆様にご負担を発生させてしまい、誠に申し訳なく思っております。他クラブの状態を調べてみましたが、北クラブは4000円の補助で年1回開催され、大きな会場で一同に集まりテーブル毎に話をすることでした。西クラブと東クラブは2000円の補助で、当クラブと同じように行っている模様ですが、チームによっては屋台など2000円で間に合うところでも行っているとのことです。南クラブは、2000円の補助で西東と同じようにしているようですが、年に5~6回行って親睦を深めることにとても役立っているとの事でした。色々方法を検討して次年度以降の参考になればと思います。以上、本日の会長報告とさせていただきます。

■会務報告

(1) 帯広RC、移動例会（家族野遊会）開催のご案内

ロータリーミニ見に情報

会場監督SAAとは。

Sergeant at Arme. 中世ヨーロッパの宮廷で外国の賓客を迎えるレセプションで会場を取り仕切る役職であった。ロータリーでは例会をはじめ全ての会議場が楽しく秩序正しく運営され、気品と風紀が守られるための、その会場における最高権限をもつ役職のこと。



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

日 時 9月 5日（日）午前10時

場 所 十勝千年の森

※尚、9月8日（水）の繰上げ例会と致します。

(2) 帯広RC、移動例会（家族野遊会）開催のご案内

日 時 9月 5日（日）午前10時30分

場 所 十勝ヒルズ

※尚、9月2日（木）の繰下げ例会と致します。

(3) 帯広RC、新会員オリエンテーション開催のご案内

日 時 9月15日（水）午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

会 費 3,000円

※出席義務者：3年未満の新会員

(4) 帯広RC、ガバナー公式訪問クラブ協議会開催のご案内

日 時 9月22日（水）午前10時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※出席義務者：理事・役員・各委員長・3年未満の新会員

(5) 帯広RC、ガバナー公式訪問例会開催のご案内

日 時 9月22日（水）午後0時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

※会員全員で記念写真をお撮り致します。

例会前午後0時15分までに3F写真室前にお集まり下さい。

(6) 帯広RC、移動例会（家族野遊会）開催のご案内

日 時 9月23日（木）午前9時30分

場 所 焼肉ガーデンまくべつ

※尚、9月24日（金）の繰上げ例会と致します。

(7) 帯広RC、移動例会（職場訪問）開催のご案内

日 時 10月6日（水）午後0時30分

場 所 帯広畜産大学 かしわプラザ

（帯広市稻田町西2線11 TEL49-5216）

・出席報告

9/1例会の報告。会員総数92名 内免除会員10名 出席者数61名

8/18例会の報告。メークアップを含む出席者数65名 出席率76.4%

・ニコニコ献金

園尾 真一会員 北海道マラソン完走しました。

小川 直樹会員 本日、卓話をさせていただきます。

及川ゆかり会員 本日、卓話をさせていただきます。

■9月ご誕生日祝い



田中 弘会員 片所 幸一会員 飛岡 抗会員
讀岐 武史会員

■9月配偶者ご誕生日祝い

池田 雄一会員 大滝 信臣会員 奥 周盛会員

■9月結婚記念日祝い

眞鍋 智紀会員 森 武夫会員 佐藤 有宏会員

梅安 雅満会員 小部 敏一会員 佐藤 幸宏会員

酒井 敬司会員 高山 直久会員 高見 英樹会員

野村 一仁会員 工藤 大輔会員 高原 淳会員

■プログラム予定

9月5日「家族野遊会」

（親睦活動委員会）

※9月8日の繰上げ例会

例会日／水曜日 12:30～13:30

例会会場／ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820

●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ広報

●委員長／倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・清田 幸孝・後藤 利之・高見 英樹

堀江 威光

●ホームページアドレス／<http://www.obihiro-rc.jp>